

現役新幹線特集

3年 T41

ここでは現役の新幹線車両を取り上げる。

◎東海道・山陽・九州新幹線

N700A 1000/4000 番台、2000/5000 番台



走行区間：東海道・山陽新幹線

使用種別：のぞみ、ひかり、こだま

最高時速：300 キロ

2013年デビュー。2005年に登場したN700系をベースとしてブレーキ機能の強化などを行って安全性を高めた車両で現在の東海道・山陽新幹線の主力車。N700Aとして製造された車両とN700系をN700Aに改造した車両の2種類があり、新製車は車体側面のロゴマークがAを強調したデザイン（写真中）で改造車はAが控えめ（写真右）。

700系 0/3000 番台 7000 番台

走行区間：東海道・山陽新幹線

使用種別：のぞみ、(0/3000 番台) ひかり、こだま、ひかりレールスター（7000 番台）

最高時速：285 キロ

1999年デビュー。スピードと居住性の両立を目的として製造され、2000年代前半の東海道・山陽新幹線の主力車だった。現在は廃車が進み、2019年度までにN700Aと次世代車N700Sに置き換えられることが決まっている。

ほか、かつて山陽新幹線のエースだったひかりレールスター用の7000番台（写真右）も存在。こちらはグレーベースに車体で、山陽新幹線のみで運用。こちらは置き換えの予定は立っていないがおそらく先は長くない。



N700系 7000/8000番台

走行区間：山陽・九州新幹線

使用種別：さくら、みずほ、つばめ、ひかり、こだま

最高時速：300キロ



九州新幹線が延伸開業し、山陽新幹線とつながった2011年デビュー。陶磁器をイメージした白藍色の車体が目を引く。N700Aとは車内の座席が異なり、指定席は重厚な仕様。

500系 7000番台

走行区間：山陽新幹線

使用種別：こだま

最高時速：285キロ



1997年デビュー。かつては最高速度300キロの「のぞみ」として活躍したがN700系の登場により活躍の場を山陽新幹線の「こだま」に移した。2018年春まではエヴァンゲリオンとコラボした塗装の車両も運行される（写真）。

800系 0/1000/2000番台

走行区間：九州新幹線

使用種別：つばめ、さくら

最高時速：260キロ



九州新幹線開業に合わせて0番台（写真左）が2004年デビュー。他の新幹線とは一線を画す和風のデザインで車内にも随所に和をイメージした装飾が見られる。2009年にはライト部分がやや出っ張った1000/2000番台（写真右）も登場し、こちらは車内に金箔が貼られている。

◎東北・上越・山形・秋田・北陸・北海道新幹線

E2系 0/1000番台

走行区間：東北・上越新幹線

使用種別：やまびこ、なすの、はやて、とき、たにがわ

最高時速：275キロ



1997年デビュー。2000年代の主力車だった。現在は主に東北新幹線の「やまびこ」や上越新幹線の「とき」として使用されており、「やまびこ」の一部は山形新幹線「つばさ」と東京ー福島で連結する。

E3系 0番台、700番台、1000/2000番台

走行区間：東北、上越、山形新幹線

使用種別：やまびこ、なすの、つばさ（1000/2000番台）、
とれいゆつばさ（700番台）、とき（700番台、現美新幹線）

最高時速：275キロ



元秋田新幹線0番台が1997年デビュー。その後山形新幹線延伸で1000番台（写真）が1999年デビュー、先頭デザインが変わった2000番台は2008年デビュー。在来線に新幹線が直通するミニ新幹線用車両で、在来線基準に合わせて車体が小さい。現在は主に山形新幹線「つばさ」として使用。ほか車内に足湯がある山形新幹線「とれいゆつばさ」や美術館をイメージして車内に美術作品が並ぶ上越新幹線「現美新幹線」（「とき」として運用）としても使用される車両もある。

E4系

走行区間：上越新幹線

使用種別：MAXとき、MAXたにがわ

最高速度：240キロ



1997年デビュー。2階建て新幹線「MAX」の2代目。8両編成のE4系を2編成つなげた16両編成にすると定員が1634名になり新幹線では世界最多になる。現在は上越新幹線のみで運用。2020年代初頭にE7系（後述）に置き換えられることが決まっている。

E5/H5系



走行区間：東北・北海道新幹線

使用種別：はやぶさ、やまびこ、はやて、なすの

最高時速：320 キロ

E5系（写真左）は2011年デビュー。日本最速の時速320キロで走行する「はやぶさ」に使用される。ピンクの帯でJR東日本が所有。ロゴマーク（写真左中）は鳥のハヤブサをモチーフにしている。**H5系**（写真右中）は2016年の北海道新幹線開業に合わせてデビュー。紫の帯でJR北海道が所有。ロゴマーク（写真右）は北海道の形をモチーフにしている。



E6系

走行区間：東北・秋田新幹線

使用種別：こまち、やまびこ、なすの、はやぶさ

最高時速：320 キロ

2013年デビュー。ミニ新幹線（E3系参照）である秋田新幹線用で、車体が小さい。東京―盛岡では「はやぶさ」と連結（写真）して時速320キロ運転を行う。



E7/W7系

走行区間：北陸新幹線

使用種別：かがやき、はくたか、あさま、つるぎ

最高時速：260 キロ

E7系は2014年、W7系は2015年デビュー。北陸新幹線長野―金沢延伸に合わせて製造された。E7系はJR東日本所有、W7系はJR西日本所有でどちらも外見の違いはない。E7系は今後上越新幹線に投入されE4系を置き換える予定。

現在、これらの車両が活躍している。新幹線に乗った際どの車両だったかということなど気にしていない方も多くいると思うが、案外気にかけてみると面白い。次に新幹線に乗るときは是非とも気にしてみてほしい。